

前回専門会議の意見整理等

(1)設備等に関すること

- ・ 駐車場にEVスタンドを設けるべきではないか。
- ・ デジタル化について、顔認証やGPS でデータ分析できるシステムを取り入れる検討をすべきではないか。
- ・ 大階段の安全性について、手摺や角部の処理などの配慮が必要ではないか。

(2)観光に関すること

- ・ MaaS の導入など、本施設から各方面(新山口駅、萩、長門など)に行く最短の経路が利用者にわかりやすいような仕組みをつくるべきではないか。
- ・ 観光の視点から、施設運営者によるソフトの企画に注力すべきではないか。
- ・ 市民利用といったコンセプトに沿った施設となっており、地域にも違和感なくなじんでいるのではないか。また、観光といった観点から考えると、市外からも来たくなるような施設とするためには、もう少しとがった特徴がある施設としてもよいのではないか。
- ・ エッジの効いた特徴ある施設となるような設備やソフト事業の検討を深めるべきではないか。(例えば、あえて古いことや、他の地域ではやめてしまったことをやってみるなど。)

(3)温浴施設に関すること

- ・ 浴槽の規模については、バリアフリーへの配慮といった観点や、湯田全体の賑わいの創出、民業への影響といった観点などを総合的に考えて決めるべきではないか。
- ・ 温浴施設における洗面スペースの規模について、女性はドライヤー等を長時間使用する傾向にあるため、広げるべきではないか。

(4)事業費に関すること

- ・ 概算事業費について、スマートシティ関係の費用等について、事業費に含まれるのか明確に整理すべきである。建築や空間の仕様を削減するのではなく、クオリティは確保した上で、次世代への実験的要素は別の事業として盛り込むなどの整理が必要ではないか。

(5)その他

- ・ 大屋根の採光や通風、換気の方法を示すために、東西・南北の断面図を掲載すべきではないか。
- ・ 大屋根広場で行われるアクティビティが上部にもしみ出したり、下階で行われた活動を上階で展示したりするなど、上下階の関係性が密になるように、運用面で検討し、建築計画に落とし込むべきではないか。
- ・ 施設の目指す姿が実現できるような施設運営者の選定に向けて、検討を深めていく必要がある。